

令和6年度 第1回 中ノ町小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年5月15日（水） 10時00分から11時30分まで
- 2 開催場所 中ノ町小学校 会議室1
- 3 出席委員 堀内 秀哲、齋藤 誠、佐藤 公治、瀧 幸仁、鈴木 景子、岡安 智代、鈴木 巧、森下 佳是、富田 仁美
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 西澤 幸次郎（天竜協働センター所長）
- 6 学 校 河合 享子（校長）、泉澤 優光（教頭）、白鳥 直樹（CS担当教員）
飛永百合子（CSディレクター）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子
- 9 協議事項

- （1）本年度の学校運営基本方針について
- （2）学校支援活動について
- （3）夢育やらまいか事業について
- （4）令和6年度目標について

- 10 会議録作成者 CSディレクター 飛永百合子
- 11 会議記録

司会の教頭から、委員総数9人全員の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。また、浜松市学校運営協議会規則の確認、前回協議会の会議録・前年度協議会自己評価表の確認がなされた。

司会が、議長の選出について意見を求めたところ、会長の齋藤委員より立候補があり、全員異議なくこれを承認した。

（1）本年度の学校運営基本方針について

議長の指示により校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があった。続いて大石教諭から、資料「中ノ町スクールTTY（つくろう つながろう やってみよう）行動目標表」に基づき説明があった。この行動支援は、できている子を称揚してできていない子の意識を高めるとのことであった。また白鳥教諭から「じぶんみがきタイム」について資料に基づき説明があった。毎週火曜日は決まった宿題はなく、自主的な学習をし、家庭では見守りと励ましを行うとのことだった。委員からは以下のような発言があった。

- ・決まった宿題がない火曜日について、保護者から意見があるか。（巧委員）
- ・子供が天竜中に入ったが、宿題がないようなので、どうしたら自分でやれるのか親が考えている。（森下委員）
- ・先々のことを考えて行動できる人になれるといい。（巧委員）
- ・TTY 行動支援の表はわかりやすくいい。家庭の意識に差があるので、どう補っていくかが問題。（景子委員）

- ・1年間見通して自主学习すれば、自分磨きになると思う。学校からそのような働きかけはあるのか。(岡安委員)
- ・学年に応じた働きかけをしている。(教頭)
- ・できている子をほめるという TTY を、自分も取り入れていきたい。ふわふわ言葉も自分が使っていないように思う。(富田委員)
- ・中学生の子供が親と一緒に活動しているうちに、なりたい職業を思いついた。自主学习は勉強でなくてもいい。(森下委員)
- ・人のために動くことの学習も大切。(瀧委員)
- ・TTY は大人に対しても必要を感じる。(佐藤委員)
- ・TTY は良い取り組みだ。子供たちも楽しくできる。成果が年度末にわかるといい。家庭によっては、自主的な学習にあまり関心がないこともある。家庭への働きかけをどのようにするか。(堀内委員)
- ・自分たちも協力しながら進めていきたい。(斎藤委員)
協議の結果、これを承認した。

(2) 学校支援活動について

議長の指示により教頭から、外部講師・ボランティアについて資料に基づき説明があった。委員からは以下の発言があった。

- ・外に発信する方法として新聞に掲載していただけるのもいい。(堀内委員)
- ・登下校安全見守りに協力していただける方がいたら連絡をください。(斎藤委員)

(3) 夢育やらまいか事業について

議長の指示により教頭から、夢育やらまいか事業予算6万円の用途について説明があった。

(4) 令和6年度目標

議長より、令和6年度学校運営協議会自己評価表の本年度の目標として、昨年度末にまとめられたものの説明と確認がなされた。

その他報告事項等

司会から、次回以降の会議は、9月4日、11月12日、2月20日を予定し、内容については、学校評価の結果や生活の姿、SNS 対応、家庭内でのスマホトラブル、委員研修の報告や伝達、などを考えているが、他に意見を求める旨の連絡があった。